



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とてひの かふち

《学校だより》 第14号

令和4年11月15日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

運動場のけやきも日を追うごとに色づいていき、秋の深まりを感じるようになりました。スポーツの秋、実りの秋、芸術の秋といわれるように、学校でもコロナ感染症の対策をしながら様々な活動に取り組んできました。10日(木)の5年生の音楽朝会によって、今年度全ての学年が音楽の発表を終了しました。どの学年も一生懸命に練習したことを全校の前で堂々と発表することができました。昨年、一昨年はコロナの影響で全くできなかった音楽朝会ですが、今年度は何とか再開し、まずは子どもたち同士で見合い、聴き合えたことをうれしく思います。子どもたちの輝く姿を、保護者の皆様にお見せすることができなかったことは大変残念に思いますが、再び披露できるようになることを願っています。



5年生の音楽朝会

3年ぶりの湯河原町小学校音楽会



5年生に音楽朝会のお礼を書く1年生

16日(水)に町の音楽会が3年ぶりに開催されます。会場は、町立体育館がワクチン接種で使用できないため、今年度は湯河原小学校の体育館です。本校は5年生が参加し、吉浜小は4年生、東台福浦小学校は4・5年生の参加となります。

10日(木)の音楽朝会では、5年生が音楽会で歌う「ビリーブ」と「群青」を全校の前で披露しました。歌い終わった後、いろいろな学年の人から「美しい声だった」「高い声がきれいにしていた」「分かれて歌ったところが素敵だった」などの感想を言ってもらいました。さらに、教室に戻ってからも、感想を手紙にして5年生に渡しているクラスもありました。全校の声援を受けて本番の16日を迎えます。湯河原小学校の代表として、また昨年、一昨年参加できなかった人たちの分も、想いを込めて精一杯頑張りたいと思います。

全校で開校150周年記念写真を撮影

4日(金)に、運動場に全校児童が集まって写真を撮りました。1つは、青と緑のベストを着て人文字のように校章を形取り、ドローンで空から撮影しました。もう1つは、10m×7mの長方形の中に全校児童と教職員が並んで、C棟4階からカメラで撮影したものです。どんな風に映ったのでしょうか。仕上がりが楽しみです。この写真はクリアファイルにして、来年5月26日の開校150周年記念式典の際に配付されます。また、全校での撮影の後に教室でクラスごとの写真も撮影しました。後日、撮影業者によるインターネットでの販売も予定しています。詳細は追ってお知らせします。



みんなで校章の形をつくろう

学校公開日にはペンキアート

12月3日(土)は学校公開日です。この日も開校150周年記念行事を行います。アフリカンペイントアーティストのしょうげん(SHOGEN)さんを講師にお迎えし、ペンキアートの制作です。子どもたちが自分の思いのままに絵を描きます。1・2年生は、1・2時間目になんとパッカー車(ゴミ収集車)に描きます。3～6年生は3・4時間目にC棟のピロティの壁に描きます。さて、パッカー車やC棟の壁面がどんな風に変身するのかを想像すると今からワクワクします。

「心はほかほか」な出来事

落ちていました

ある朝、校門の所に立っていると、ある子から落とし物を手渡されました。私が「名前は書いてないかな?」と探し始めると、その子はびっくりして1円玉をのぞき込み「校長先生、お金に名前を書くの?」と言いました。私は「そうだね、お金に名前は書かないものだね。だから落とすと誰の物か分からなくなって、落とした方も拾った方も困ってしまうよね」そんなさりげない会話を交わすのも、毎朝子どもたちを迎え入れる時の楽しみの1つです。

ラジオで校歌が流れます

11月20日(日)の11時20分頃、FMヨコハマで本校の校歌が流れます。「まんてんサンデー」という番組で、卒業生等から番組に寄せられた本校に関わる思い出のメッセージや学校の様子を紹介しながら校歌を流すというものです。学校の様子では、開校150周年のことを伝えようと思っています。もしよろしかったら聴いてみてください。

(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>